

！ 洪水発生！家のまわりはどうなるの？

あなたは、ここ(浸水深50cm以下)を歩いて避難できますか？ましてや夜だったら・・・？
浸水が始まると、茶色く濁った水があたり一面を覆いつくします。

泥水は異常な速さで家を水没させてしまいます。



平成27年9月関東・東北豪雨災害(茨城県常総市) 写真提供:常総市



平成30年7月豪雨災害(岡山県倉敷市真備地区) 写真提供:岡山県

命がけの避難にならないように！

- Q1 自分の家のまわりは雨が降っていないから大丈夫？
- Q2 川の水位が上がってきてから避難すればよい？
- Q3 濁った水でも浅ければ歩いて避難できる？
- Q4 マップで着色されていない場所は安全？

それダメ！

- A1 雨が上流で降れば下流では川の水位があがるので、上流の雨の降り方にも注意が必要です。
- A2 中小河川の場合、あっという間に水位が上昇して氾濫する場合があります、避難できなくなります。
- A3 濁った水の中では道路の状態が分からず、歩くのが困難で危険です。
- A4 ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い場所を着色した地図です。着色されていない場所でも災害が起こる可能性がありますので、決して油断しないでください。

POINT

- 土砂降りのなか、浸水が始まってしまった道を移動するのは困難です。
- 豪雨時は特に中小河川では異常な速度で水位があがり、気づいた時には河川があふれ危険な状態になります。災害が起こる前に、早めの避難をしましょう！

【平成30年7月豪雨災害で被災した方の気付き】

- 水位の上がり方が異常な速さで、すでに避難経路が河川となり逃げようにも逃げられなかった。
- 気づいた時、すでに玄関から泥水が床上に上る勢いであつたので勝手口から膝上まで水につかりながら石垣を登り高台へ避難した。
- 外に出たら家の前は30cmぐらい水が来ていた。道路に出たら水の流れが速く、渡るのが危うく思った。
- もっと早く避難する必要があるということに気付いた。

引用:平成30年7月豪雨災害に係る住民避難行動の要因分析(岐阜県、岐阜大学)

